

講演会案内

# 江戸のリテラシー

## — 江戸の教育力 —

・ 川柳や小咄にみる江戸の笑い ・

江戸時代は高い識字率と教育力を基盤とした平和で文化的な時代でした。この江戸のリテラシー・教育力は、単なる読み書きに留まらず、黄表紙や川柳、小咄といった豊かな出版・大衆文化を育みました。江戸の人々は困難な状況すら笑い飛ばすユーモアと知恵を持ち、その精神は現代の落語や娯楽にも通じています。本講演では近世史学者の大石学氏が現代と地続きにある江戸の文化的な普遍性と、それを支えた教育力の真髓について詳しく解き明かします。

### なぜ今「江戸のリテラシー」なのか



「江戸の平和」を支えた  
高度な教育力

寺子屋や往来物を通じて武士から庶民まで広く普及したリテラシー・教育力が近代化の礎となった。



困難を笑い飛ばす  
「遊び」の文化

困難すら小唄や川柳で笑いに変える知恵は教育に裏打ちされた江戸特有のテクニク。



江戸は現代と地続き  
の「初期近代」

江戸の社会的・文化的特徴は途切れることなく、現代日本の普遍的な文化として息づいている。



講師：大石 学氏

日本近世史学者。東京学芸大学名誉教授、静岡市歴史博物館館長。



NHK大河ドラマ時代考証を担当：

『新選組!』、『篤姫』、『西郷どん』等多数。

日時：2026年6月14日(日)  
10:00～12:00 (受付9:45～)

参加費：1,500円 (お支払いは当日受付にて)

会場：新宿歴史博物館 講堂

四ツ谷駅(出口2)徒歩10分

四谷三丁目駅(出口4)徒歩8分

＊申し込みの際には「講演会参加希望」と記し、「氏名(ふりがな)」「電話番号」「メールアドレス」をご記載ください。

申し込み及び連絡先：

[momo.mizukoshi@nifty.com](mailto:momo.mizukoshi@nifty.com)

(企画理事) 主催：NPO法人江戸連